



団体視察旅行向け
のと里山空港で
「能登半島地震を学ぶ旅」
「能登で学び、未来を守る」
地震の記憶と復興の歩みから
災害への備えを考える新しい学びの旅



のと里山空港利用促進協議会

能登半島地震の記憶を風化させず

次世代へと伝える学びの旅

被災地の現場に立ち、地域の声に耳を傾けることで、
防災・減災への理解を深め、
未来への備えを考える新しい視察プログラムです。



令和6年1月1日、石川県能登地方を震源とする最大震度7の「能登半島地震」が発生しました。正月の夕方を襲った強烈な揺れは、多くの住宅や公共施設を倒壊させ、道路や鉄道、ライフラインにも甚大な被害をもたらしました。とりわけ沿岸部では地盤の隆起や地割れが広範囲に及び、家屋の倒壊や火災と相まって深刻な生活環境の変化を引き起こしました。さらに津波や土

砂災害も発生し、地域社会に複合的な被害を与えています。

地震からの復旧・復興は今も続いています。被災地では行政や支援団

体の尽力に加え、地域住民同士の助け合いが大きな力となりました。避難所運営や物資の分配、孤立集落への支援など、困難な状況においても多くの人々が力を合わせ、命を守り、暮らしを立て直すために行動しました。こうした現場の経験は、数字や報道だけでは伝えきれない「生きた教訓」として受け止めることができます。

日本は地震大国といわれ、各地で同様の災害リスクを抱えています。能登半島での被災体験は、地域ごとの特性をふまえた防災・減災の重要性を改めて示しました。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。だからこそ、過去の災害を学び、そこから未来への備えを考えることが求められています。



震災時に果たした のと里山空港の役割



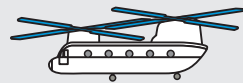
多機能な空港施設

- ・旅客ターミナルと行政庁舎を合築
- ・民間事業者と行政機関合わせて
約240人が勤務
- ・震災時の「広域物資輸送拠点」
に指定



全国の空港で唯一※の 「防災道の駅」

- ・耐震化・無停電装置などを整備
- ・約900台分の大駐車場



※のと里山空港の取組が評価され、能登半島地震後に40駅を
追加選定

2024年1月1日



能登半島地震発生

震災直後の状況

- ・館内には、搭乗予定者等約200人がいた
- ・「防災道の駅」を頼りに周辺から自然と避難者が集まる
- ・避難者約600人を受け入れ、臨時避難所としてスタート



復旧活動の拠点

- ・電気・水洗トイレがすぐに復旧し大活躍
- ・復興支援職員等のために仮設宿泊施設・仮設レストランを駐車場内に整備



のと里山空港

〒929-2372
石川県輪島市三井町洲衛10-11-1
TEL:0768-26-2000
FAX:0768-26-2002



復興過程の見学と被災地で頑張る 「能登人」との対話の機会を提供します。

NOTOMORIを会場に10名様以上で
コーヒーセット付き／昼食付き での
有料プログラム※を用意しています。



現在、受入能力を超える多数のお問い合わせをいただいております。当面はのと里山空港の航空便を利用する団体に限定して受入いたします。お近くからの団体でも、能登視察と併せて羽田便で東京へ向かう視察団体などでしたら受入可能です。

※詳しい料金は、旅行会社を通じてのと里山空港利用促進協議会にお問い合わせください。
☎076-225-1336

プラン1

コーヒーセット付きプラン

コーヒーセット
＋
講話



自家焙煎珈琲とカヌレのセットを提供します。
※カフェが営業していない場合は講話のみの対応も可能です。

プラン2

昼食付きプラン

昼食
＋
講話



※同一グループ同一メニュー ※コーヒーセットは付きません
各お店は不定期営業のため、事前に第2希望まで
ご指定いただき当日営業するお店が提供します。

のと里山空港仮設飲食店街 NOTOMORI ノトモリ

のと里山空港第一駐車場内
のと里山空港から
徒歩0分



NOTOMORIは能登復興の拠点として2024年11月2日にオープンしました。

施設内では6つの飲食店が美味しいご飯・ドリンク類を提供しておりWi-Fiも完備、お昼はコワーキングスペースとして、夜は大衆食堂としてご利用いただけます。

店舗紹介

SMOCO カフェ

自家焙煎珈琲と焼き菓子を提供。
テイクアウトにも対応。

のと里山食堂 然 カレー

本格ビーフカレー、能登の干物定食
などを提供。

香華園 町中華

地元民に愛される町中華の大衆食堂。

芽吹食堂 創作料理

能登の自然の恵みや地元生産者の
食材を使用した創作料理。

御食事処まだら館 郷土料理

能登近海の魚介類や野菜を使った
郷土料理と地酒を提供。

てらおか堂 肉料理

精肉店直仕入れで良質なお肉を使った
大衆食堂。



震災を語り継ぐ「語り手」たち

能登半島地震を経験し、現場で対応にあたった人々の体験談を直接聞くことができます。

空港関係者、県職員、社会福祉協議会、復興事務所、地域の担い手など、

多様な立場からの語りは、震災の実像を理解し、防災・減災を考える貴重な学びにつながります。



能登空港ターミナルビル(株) 前田 正彦さん

能登半島地震における「のと里山空港」での出来事を管理責任者としてお伝えします。

能登半島地震発生直後の出来事とその対応や教訓となったことなどの体験談をお話します。

地震のすさまじさと被災状況などを説明した上で、具体的に空港で起きたこと、空港に避難してきた人々への対応やその後の状況など臨時避難所生活について説明します。

のと里山空港が臨時避難所として十分に機能した理由や、避難所運営での苦労話や教訓など全てお話します。



能登空港ターミナルビル(株) 松 茂之さん

能登半島地震における「のと里山空港」での出来事をお伝えします。

能登半島地震発生直後の出来事とその対応や教訓となったことなどの体験談をお話します。



能登空港ターミナルビル(株) 若山 雅彦さん

能登半島地震発災時に「のと里山空港」で陣頭指揮して経験したことをお伝えします。

能登半島地震発生時に実際に経験した体験談や、その後の対応や教訓をお話します。



奥能登総合事務所 森岡 範光さん

能登半島地震における「のと里山空港」での出来事や、復興への取り組みについて県庁組織の最前線からお伝えします。

能登半島地震発生直後の出来事とその対応や教訓となったことなどの体験談をお話します。

被災状況などを動画や写真で見ていただき、復興に向けた県の全般的な施策を最前線の行政職員として紹介します。

子ども団体から議員視察まで幅広い参加者に対応した説明で受け入れております。



国土交通省能登復興事務所 田中義太郎さん／中村 圭弘さん

能登半島地震における能越自動車道、国道249号（能登半島絶景海道）の復旧過程や工事についてお伝えします。

国土交通省が実施してきた発災直後における対応から道路啓開・道路復旧についてお話します。

創造的復興に向けて、工事状況や能登半島絶景海道の取り組みなど最新の情報をお話します。



輪島市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「ふくし あいちゃん」

輪島市社会福祉協議会

発災後より「災害たすけあいセンター」を立ち上げ、避難所や自宅で生活する皆様へ物資の提供や被災者の皆様の相談対応などを進めると共に、災害ボランティアセンターの運営を通じて支援活動を行ってまいりました。全国から多くのご支援を頂きながら、地域の皆様が安心して生活できる環境を整える為の取り組みを行っております。これまでの私たちの活動をご紹介しますことで日頃の備えや地域の絆の大切さをお伝えできれば幸いです。



道の駅すず塩田村 駅長 神谷 健司さん

日本で唯一の能登の揚げ浜式製塩と、地震・豪雨災害後の奥能登の観光の現況についてお伝えします。

能登半島地震と能登豪雨災害が奥能登の観光と能登の塩づくりに与えた影響は甚大で、特にインフラの完全復旧の見通しが立たない状況です。観光と伝統的な塩づくりを生業とする当道の駅では、住民の避難による人手不足により困難な状況が続いています。また、仮復旧道路の通行規制により大型バスが周遊できず、奥能登の観光の存続に大きな影響を与えています。大型バスでは見て回れない震災後の奥能登の現況についてお話します。

※人事異動などにより変更する可能性があります。(R7.10現在)



参加者の声

某大学 研究室旅行

質疑応答が止まらず30分も時間をとってもらい、聞きにくいことも詳しく教えてもらえて良い学びになりました。



建設業団体 視察

地震に対する対応は地域の住民の生活に直接影響する。いかに建設業協会が準備をしていくか、対応できるか参考にしたい。



倉庫業団体 旅行

詳細な災害の経験談を聞いてとても参考になった。社員にも聞いてもらいたいので、会社に戻っておススメする。
そのあとは観光も楽しみ、いいバランスの視察旅行になった。



開始半年で500名の受入実績あり。今後も予約・お問い合わせを多数いただいています。

のと里山空港で「能登半島地震を学ぶ旅」のお申し込み

お申し込みは旅行会社を通じてNOTOMORIまでメールで以下の内容をご連絡ください。

1. 日時
2. 能登空港利用便(●月●日のAM/PM 能登発/着)
3. 到着時刻・出発時刻など前後の行程
4. どのような分野の話を聞きたいか
(特になければ全般的な話)
5. 団体概要
6. 参加人数
7. コーヒーセット付きか昼食付きか



mail:info@noto-mori.jp →





能登半島地震を学ぶモデルコース

― 被災地を巡り学びと交流を深める旅 ―

のと里山空港での視察を組み込んだプランの参考として、以下の2つの視察コースをご紹介します。

1つ目のコースは、のと里山空港到着後に講話を聞くコースです。

このコースのポイントは、羽田空港から飛行機で到着して、視察をして、昼食をとるまでをのと里山空港で済ませられることから、行程がとてもスムーズになります。貸切バスを午後から呼ぶことで、バス料金の節約にもなります。

午後からは珠洲市や輪島市など奥能登に行く時間もあります。金沢と奥能登は100キロ以上離れているので、奥能登に行く場合にはホテルを羽咋市以北の能登地域で手配するのがオススメです。

2つ目のコースは、のと里山空港出発前に講話を聞くコースです。

このコースのポイントは、金沢市内で宿泊しても、1日でのとを3か所も視察できる行程になっています。行きは北陸新幹線を利用して金沢を観光し、帰りにのと里山空港を利用して視察をするという行程を組むこともできます。もちろん、能登地域に宿泊しても朝の時間を有意義に使えるコースは能登各地にございますので、宿泊地に合わせてアレンジ可能です。

ここで紹介するモデルコースは一例であり、参加される方の日程や目的に応じて観光地や視察プログラムを組み合わせ、オリジナルの旅行をデザインすることが可能です。情報が不足してお困りの方には、県の担当課が相談に乗りながら、目的に合ったプラン作りをお手伝いいたします。

午前便利利用

到着時に空港で講話を聞くコース

- 9:00 ● 羽田空港発 
- 10:00 ● のと里山空港着
- 10:20 ● NOTOMORIにて
震災の体験談を拝聴・質疑応答
- 11:15 ● 空港周辺の仮設宿泊所見学
- 11:50 ● NOTOMORIにて食事
- 12:45 ● のと里山空港発（貸切バス） 
- 13:30 ● 白米千枚田に移動して復興状況を見学
- 14:00 ● 千枚田発
（隆起した海岸に作った国道249号を車窓見学）
- 14:30 ● 輪島塗工房にて工房見学とお買い物
- 15:10 ● 
- 16:10 ● 能登ワインにて醸造所見学ガイドと
ワインの試飲・お買い物
- 16:55 ● 
- 17:55 ● 旅館着

時間は目安です。

午後便利利用

出発前に空港で講話を聞くコース

- 8～9:00 ● ホテル出発
- 10:00 ● 和倉温泉総湯から
温泉街散策ガイドツアー
- 10:30 ● 和倉温泉お祭り会館見学
- 11:00 ● 温泉街でお買い物
- 11:30 ● 和倉温泉発（貸切バス） 
- 11:45 ● 七尾市仮設商店街の
太左工門にて昼食
- 13:10 ● 七尾駅
震災語り部観光列車
- 14:05 ● 穴水駅
のと里山空港へ 
- 14:45 ● NOTOMORIにて
震災の体験談を拝聴・質疑応答
- 16:00 ● NOTOMORI→のと里山空港へ
- 16:50 ● のと里山空港発 
- 18:00 ● 羽田空港着

時間は目安です。

子どもと一緒に学ぶ「震災体験プログラム」

未来を担う子どもたちに、防災や減災の大切さを伝えるための学習プログラムです。

実際の震災体験談を聞き、現場を見学することで、自分ごととして考えるきっかけを提供します。



体験談を聞く

被災した方や支援に携わった方から、当時の状況や対応を直接学びます。



現場を見学する

仮設住宅や復興の現場を訪れ、災害後の地域の歩みを知ります。



考える・話し合う

子どもたち自身が「自分にできること」を考え、共有するしかけとして、Gakkenと共同で開発したワークシートをご提供します。

学校や子ども団体の社会科見学、防災教育の一環として活用可能

所要時間：半日～1日程度 対象：小学生～高校生

県空港企画課にご相談下さい

詳しくは

親子で震災を学ぶ旅



のと里山空港おトク情報 クーポンプレゼントキャンペーン



人数 × 1,000円分



クーポン
キャンペーン

のと里山空港の食事がおトクに

ご利用の流れ

- ・旅行会社様を通じて事前に申請
- ・能登一羽田便を利用する団体の人数分×2枚を旅行会社に郵送
- ・注文するときにお店の人にクーポンを渡してください。

ご利用条件

利用可能店舗：以下の3店舗
対象：10名様以上の団体

※募集型ツアーを除く

500円以上のお買い物につきクーポン1枚、
1000円以上のお買い物につき2枚利用可能

利用可能店舗

3F レストランあんのん

2F セレンディピティ

1F 売店つくし

隣 NOTOMORI

震災を学ぶ旅の
講話にも使える

詳しくは

のと里山空港復興応援クーポン



のと里山空港利用促進協議会（石川県空港企画課内）

石川県金沢市鞍月1-1 TEL 076-225-1336